

浪江駅西側地区公民連携まちづくりアイデア提案

『共創交流拠点形成と地域課題・社会課題解決に向けて』

【地域経営主体】教育・イノベーション拠点の実現に向けた構想策定・事業化検討の提案

2024年 10月11日

平井 貞義(株NTTファシリティーズ)

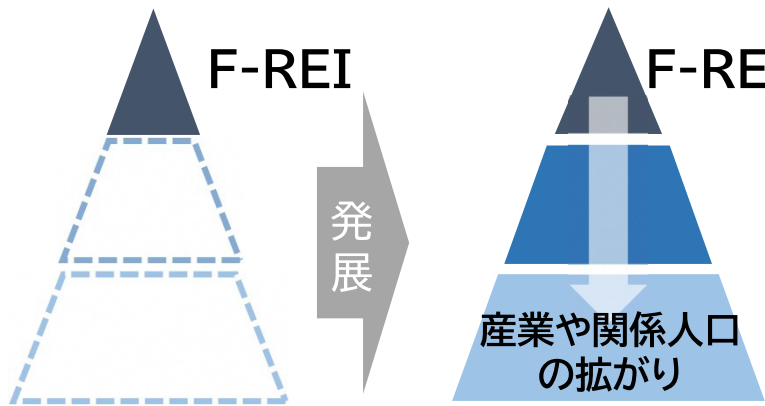
提案概要

F-REIを中心としたイノベーション・エコシステム(関連産業の誘致と研究者家族の移住、生活産業の拡充)を発展させ、浪江町の地域活性化の起点となるイノベティブ・ハブ(特徴的な共創教育とイノベーション創発を实践する、しくみと拠点)を提案します

目指す姿

「浪江国際研究学園都市」

F-REIエコシステム:F-REIを中心とする関係産業・関係者と地域住民が関わる集合体
→ 関連産業・関係人口の増により浪江町の活性化に貢献



-①特徴的な研究・開発拠点(=エコシステム・コア)
-②コアと直接的に結びつく関連産業の誘致
-③①や②に伴う高度専門人材・関係者家族の転入増と生活関連ビジネスの拡大

実現に向けたポイント

高度専門人材・関係企業に選ばれるまちづくり
新・現住民のQOL(Quality Of Life)を高め、進出企業やまちの課題に応える人材・起業家を
持続的に生み出す育成システムと拠点 = イノベティブ・ハブ

↓
浪江町に移り住むことが憧れになるような、教育から始める共創・チャレンジの場づくり・風土づくり

2001 鶴岡市に慶応大「先端生命科学研究所(IAB)」を誘致

ビッグデータ解析に基づく新しい生命科学分野のパイオニア
として世界中から注目
(生物データを網羅的に解析し、大量のデータをコンピュータで分析・
モデリング・シミュレーションして理解する研究)



出展：慶応義塾大学先端生命科学研究所HPより

公共投資と民間開発が進み、鶴岡サイエンスパークとして成長

2004~2006 鶴岡市先端研究産業支援センター

2010~2011 レクチャーホール

2013 **上場企業の誕生**
ヒューマン・メタボローム・テクノロジー(HMT)
(山形の上場企業6社のひとつ)

2013~2015 スパイバー社・本社、研究棟

2018 QOLの向上
ショウナイ ホテル・スイデンテラス
子育て支援施設 キッズドーム・ソライ
(市が1億円補助)

(慶応義塾大学先端生命科学研究所、鶴岡市先端研究産業支援センター、Spiber社研究棟
ショウナイホテル スイデンテラス、キッズドーム ソライ)



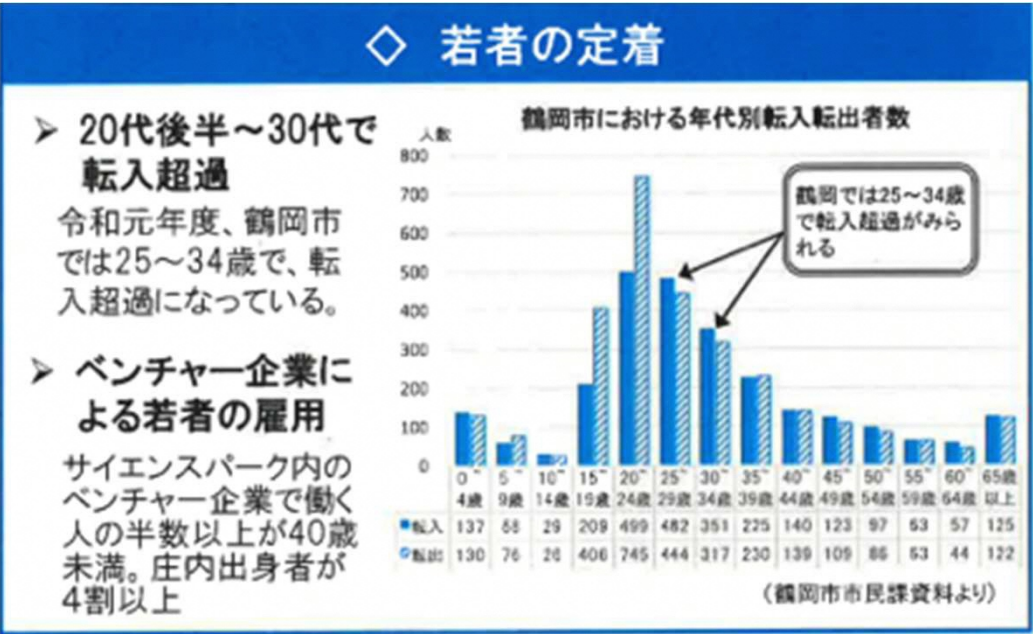
慶応先端研、慶応発ベンチャー企業、研究機関などで研究活動等に
従事する研究者、スタッフ等は全体で約560名(地元出身者は約4割)

出展：鶴岡市 提供資料

県及び市が大学へ年間合計7億円の資金提供

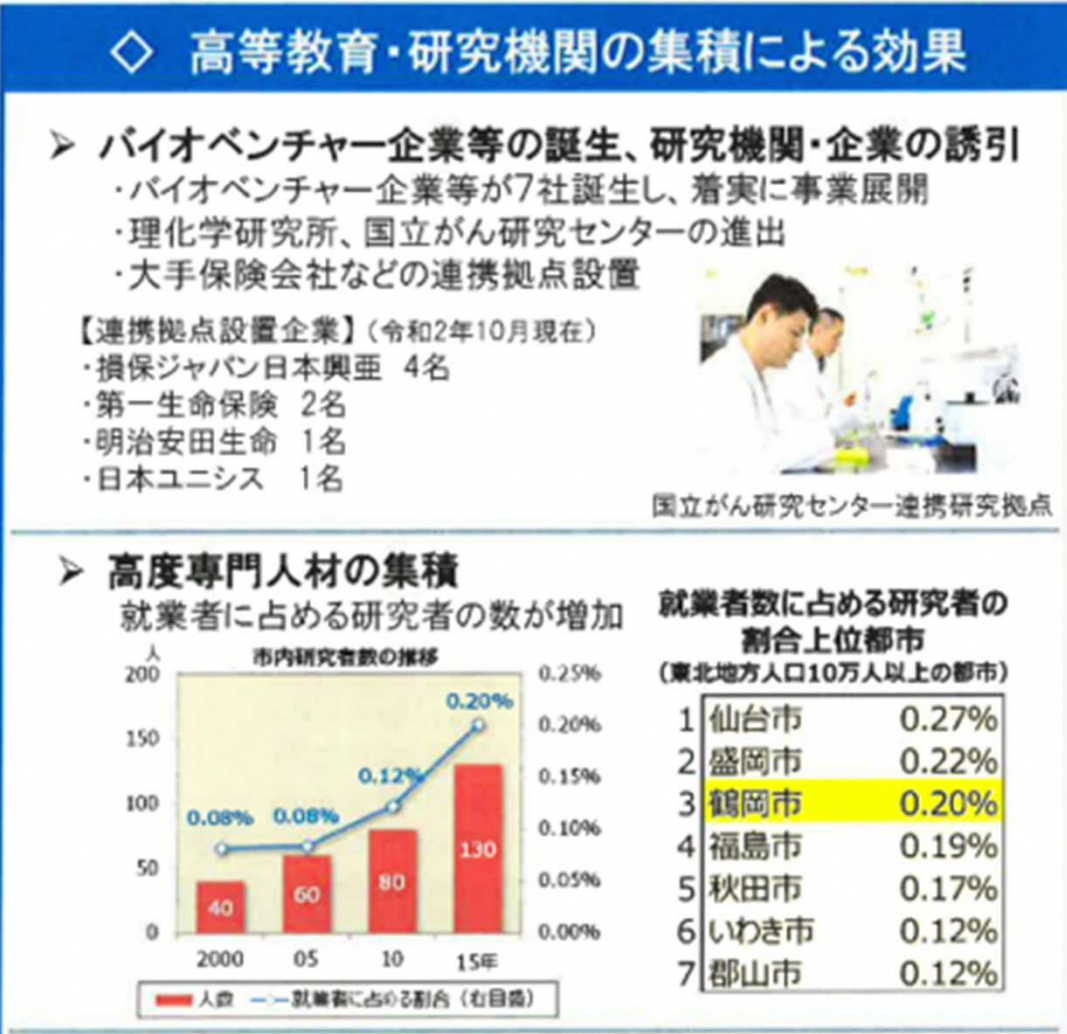
- ・サイエンスパーク
雇用者数は、約500人で増加傾向
(地元出身者が4割以上)
- ・関係者等の訪問者数は、年間約3,000人
- ・経済効果は年間30.7億円(2019、山形銀行試算)

20代後半～30代が「転入超過」



出展:鶴岡市 提供資料

ベンチャー企業7社が誕生。高度専門人材が集積



海外の研究者が憧れる、日本らしいクリエイティブ環境、とは

富田所長 研究者が自慢できる、憧れる環境を
「豊かな自然、文化、食、面白いサイエンス」



- 海外の人からは日本の地方は魅力的
ワークライフバランス、自然アクティビティ、通勤のない生活、人付き合い・距離感
- 研究者のQOL(Quality of Life)の確保、家族が来たくなる環境
- クリエイティブを喚起する仕掛け 「クリエイティブな人がクリエイターを呼ぶ」

世界的研究拠点で研究者生活。
イノベーティブな試み、前例のないチャレンジ、
自由な発想 知的興奮 誰もしていない研究
チャレンジとエキサイトメント
開発スピードを上げる工夫



【分析①】高度専門人材や先進企業等に選ばれるまちづくり

【事例】 国際的に独自性の高い研究機関
(例：鶴岡×慶応大IAB、会津若松×会津大・AICT、弘前×弘前大COI)

- ・ 大手企業の研究サテライト、スタートアップの集積

【事例】 国際的に独自性が高く広範なサプライチェーンを有する最先端製造・開発拠点
(例：半導体産業)

- ・ 製造＋研究拠点 関連企業の集積

【分析】 高度専門人材等が移住に関して気にする点

①高度専門人材・研究者が家族を連れて住みたくなる生活環境
(パートナー・子含む)

国際・共創教育 (STEAM、IB) ・先端分野の人材育成
にぎわい・交流機会の充実
質の高い住宅・ホテル(高所得者向け)
医療 (国際対応)

②イノベーションを育む創発のしくみと環境

外ものに寛容で、チャレンジを育む風土の醸成
異分野の交流機会
行政・地域金融・地元企業の協力

イノベーション・ハブが取組むテーマ
教育 × オープンイノベーション

【分析②】浪江地域の教育面での課題解決に向けたまちづくり

地方都市が抱える教育課題に対して、浪江ならではの新しい高等教育の場を創る
→首都圏・仙台にない、地方らしい・人と人が密接に関わり、自律心を高める課題解決・共創型教育を志向

若い人たちの教育での課題

- ・子供たちのコミュニケーションの場が限定的、多様性がない
- ・少人数クラスの教育
- ・家と学校の往復(スクールバス通学or送迎)
- ・教育現場での指導者不足
- 教師不足・長時間労働
- 専門指導ができない
- 「部活」指導に限られる(バスケ、バレー、バトミントンのみ?)
- ・教育の選択肢が少ない
- 学習塾・習い事できるところが少ない
- ・高校から先の高等教育の環境が地元にな
- い

浪江のポテンシャル

新しい機会を求めてくる
起業家や意欲的な人々の存在

F-REIなどの高度研究機関・企
業の進出

技術革新によるチャンス

教育DX
(オンライン学校・授業／リモート
ワーク)
例:N高、オンライン学習塾

解決の方向性

都会:難関大学突破・総合学力教育
↓
地方:課題解決・共創型、起業家教育

浪江でしかできない
リアルなプロフェッショナル教育

①「一流」の指導を受ける機会の創出

- ・F-REI等の特別研究生制度など(ロボット・ドローン・製薬・一次産業)
- ・地域起業家による課題解決型授業
- ・専門家による高度な部活指導

②ネットワーク型授業

- ・スクールバスで様々なプロフェッショナルのところへ出向き、本物の指導を受ける(コミュニティスクールの発展形)

オンラインによる全国レベルの総合学習

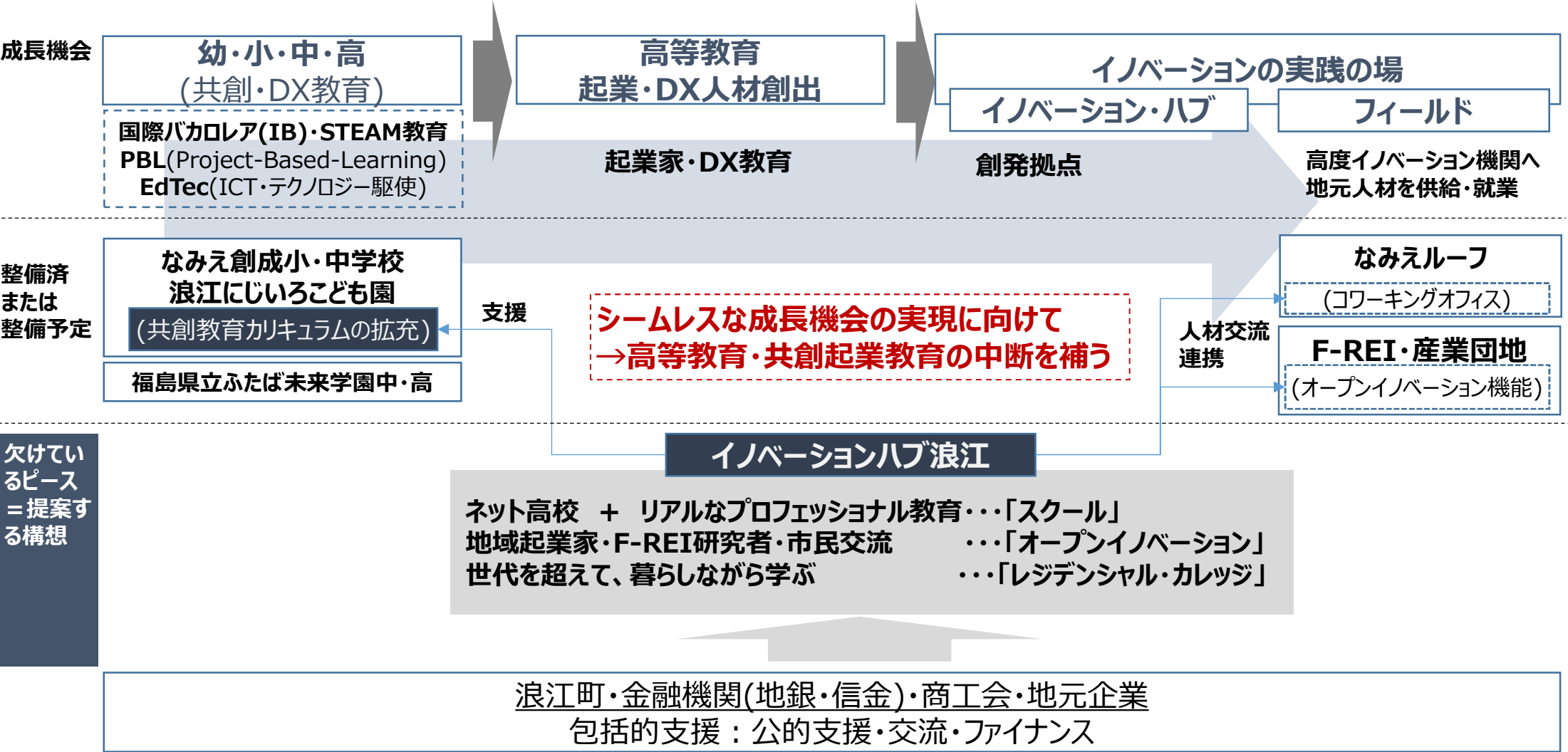
- ・オンライン学校・塾

リアル・オンラインに対応できる
コミュニケーション・発信力の強化

イノベティブ・ハブの役割

既存の教育・イノベーションのしくみの中で欠けている、高等教育～起業教育を充実させ、子供たちの教育から始まる、シームレスなイノベーションのシステム(教育・イノベーション施策の連携と拡充)を創る。

↓
次世代に求められる共創・DX人材を育成し、教育移住を促し、研究学園都市の発展に寄与



【参考】教育DXの可能性 インターネット高校(N高)の事例と浪江での可能性

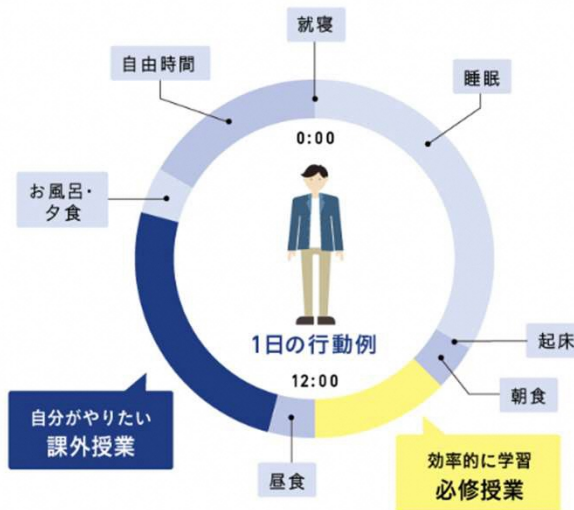
N高のコンセプト

01

好きな時に、好きな場所で学習
効率的に高卒資格を取得

ネットの高校は、インターネットと通信制高校の制度を活用した新しい高校です。ICTツールを活用し効率良く高校卒業資格取得のための学習ができます。効率良く学習することで、自らが学びたいことに多くの時間を充てられます。

必修授業について →



イノベーション・ハブ浪江での可能性

- 午前
①「効率的な高卒資格取得」
- 午後
②「自分のやりたい課題授業」
→「**ここでしかないプロフェッショナルからリアルな学び**」
・起業 ・企業インターン ・F-REI研究助手 ・部活
- 夜
③「自由時間」
→社会人・学生・高校生 「**暮らしながら学ぶ**」

増えた時間で、将来へつながる、リアルな体験を

↓
オンラインにはない、
対面でのリアルなプロフェッショナル教育
(地域の人々が教育に参画し、教育を支える)
+
オンラインでつながる一流からの指導
地元の起業人・専門家、F-REI研究者が参画

・・・「市民大学なみえ」の特任教授
部活動(一流による指導)・・・市民コーチ・市民講師
放送部(ミニFM)・・・SNS発信力も磨く
サイエンス部 ・・・F-REI連携

02

増えた時間でやりたいことを
将来へつながる多くの経験ができる

ネットの高校では、好きなことを好きなだけ学ぶことができます。ネットで学べる大学受験対策・プログラミング・語学などに加え、リアルで体験する職業体験・留学プログラムなどの課外授業や、eスポーツや投資・起業を学べる部活があります。

課外授業について → ネット部活 →

出典:N高等学校・S高等学校・R高等学校HP

【参考】イノベーション・ハブ事例 レジデンシャル・カレッジ(東京都 Shimokita College)

意欲的な学生・起業家が暮らす中で切磋琢磨し濃密な人間関係を構築し、共創を促進

レジデンシャル カレッジ 「暮らしながら学ぶ」

異なる分野を学ぶ多様な仲間(高校生・大学生・社会人)との共同生活や、そこでの対話を通じた日々の学びを通して、不確実で多様な社会を生き抜く重要な力を育む。

- ①偶発的な対話から学びが生まれる仕組み
- ②多様性豊かなコミュニティ
- ③学びやキャリア成長へのサポート

- ・意識の高い学生・社会人が選別されて入居
- ・期間限定の寮生活体験
- ・緻密にデザインされた「偶発的な出会い」「コミュニティ形成」



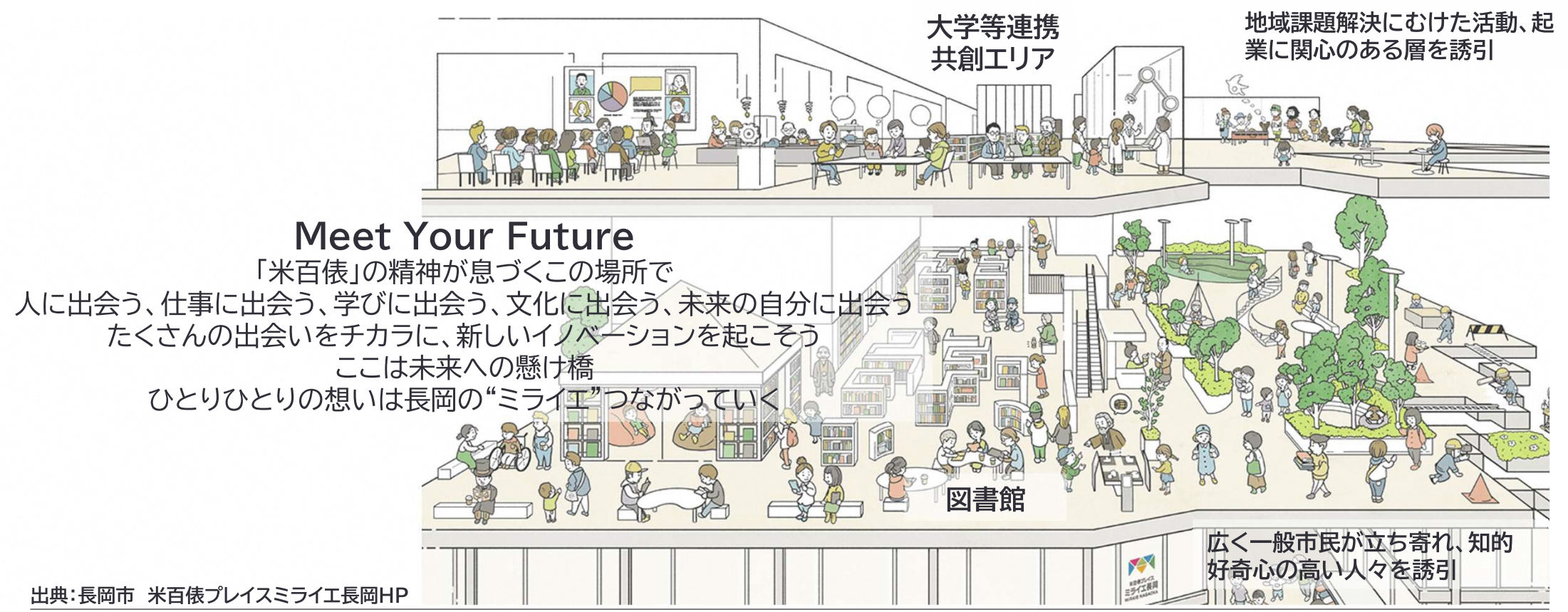
出典: SHIMOKITA COLLEGE HP



地域住民と学生・起業家をつなぐ、オープンイノベーションの場

国漢学校の跡地に生まれる、固定観念にとらわれない
人づくりと産業振興の拠点

「ミライエ長岡」が建設される場所は、「米百俵」の舞台となった国漢学校の跡地です。未来を見据え人材育成に力を注いできた長岡の教育の精神は、様々な分野で活躍する多くの人材を輩出してきました。この精神を受け継ぎ、時代の変化に対応した新しい学びの場、多様な人材が集まり交流する場、新しいチャレンジの機会に出会える場をつくり、この地から新たな価値を創造します。



施設運営

運営主体の組成・選定が重要であるが、現段階では未定。
今後、関心を寄せる皆様と実現性を高める

①スクール

F-REI、関連企業の協力による実学教育・インターンシップ
起業家育成・支援(アントレプレナー教育)

スクール運営

②オープンノベーション

賃貸管理:コワーキングルーム・貸しオフィス
運営

スタートアップ支援
カフェ

③レジデンシャル・カレッジ

賃貸住宅事業
高校生・大学生・起業家・地域おこし協力隊などを対象

宿泊事業

学びのニーズに合わせて柔軟な居住の期間設定
(インターンシップ、長期休暇カリキュラム、合宿)

運営主体案

【初期段階】

(オープンイノベーション事業)

・コミュニティ運営・スタートアップ支援に長けた
運営事業者

↓

【中長期的には】

(スクール事業)

・教育機関と連携したサテライト運営

(レジデンシャル・カレッジ事業)

・コミュニティレジデンス事業を手掛ける事業者

NTTグループの取り組み実績

- ・地銀と連携したスタートアップ・DX支援
- ・大容量・高セキュリティ・低遅延通信基盤
- ・OPEN HUB事業
- ・公共施設整備におけるPPP・PFI事業

土地利用、施設概要

イノベーションハブ浪江は、なみえルーフやF-REIをつなぐ、教育・オープンイノベーションの場

主な施設機能

①スクール

F-REI、関連企業による実学教育・インターンシップ
起業家育成・支援(アントレプレナー教育)

サテライトキャンパス
リモートコミュニケーションルーム

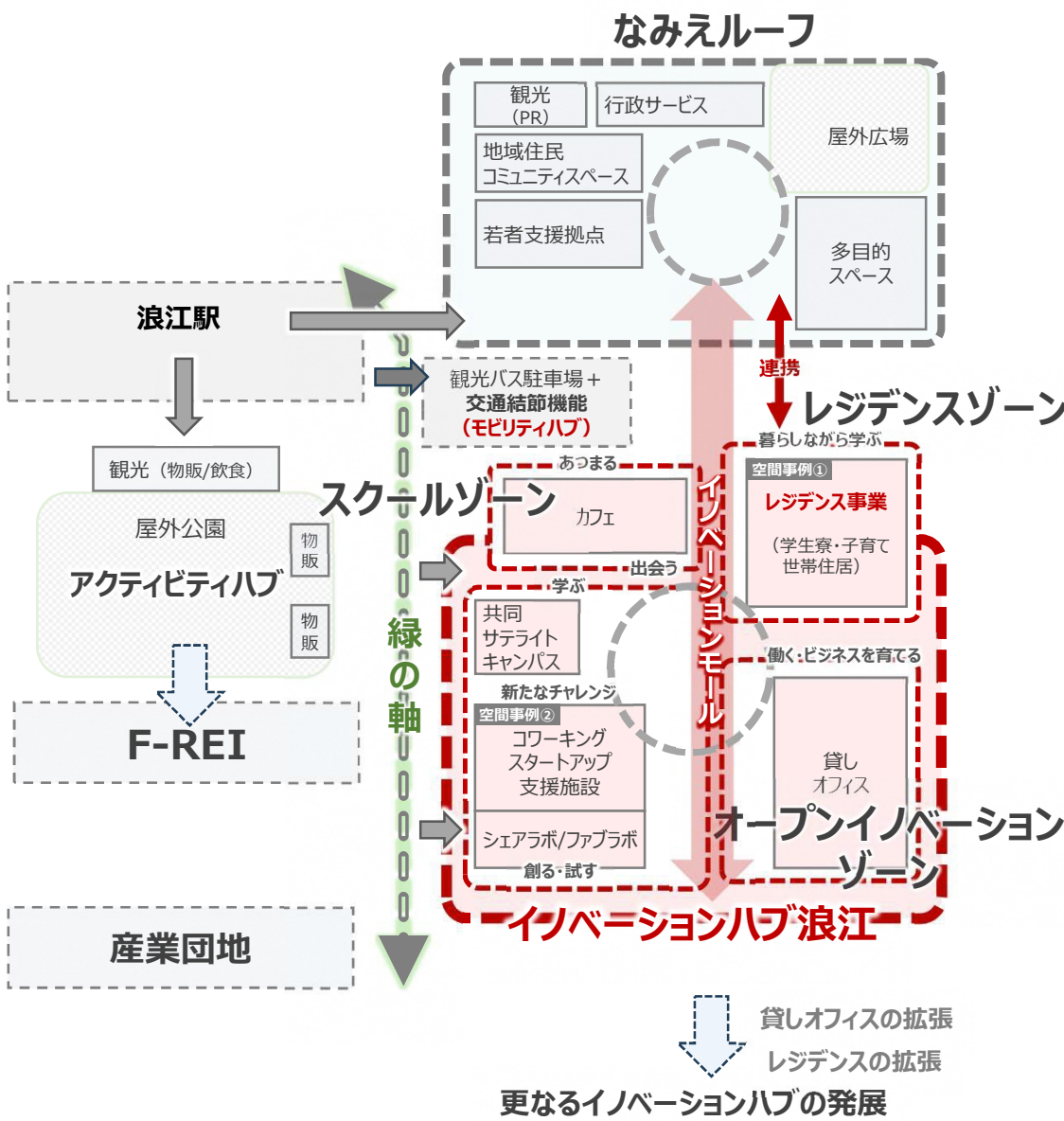
②オープンイノベーション

コワーキングルーム
スタートアップ支援
貸しオフィス
カフェ

③レジデンシャル・カレッジ

賃貸住宅+コミュニティラウンジ・レストラン

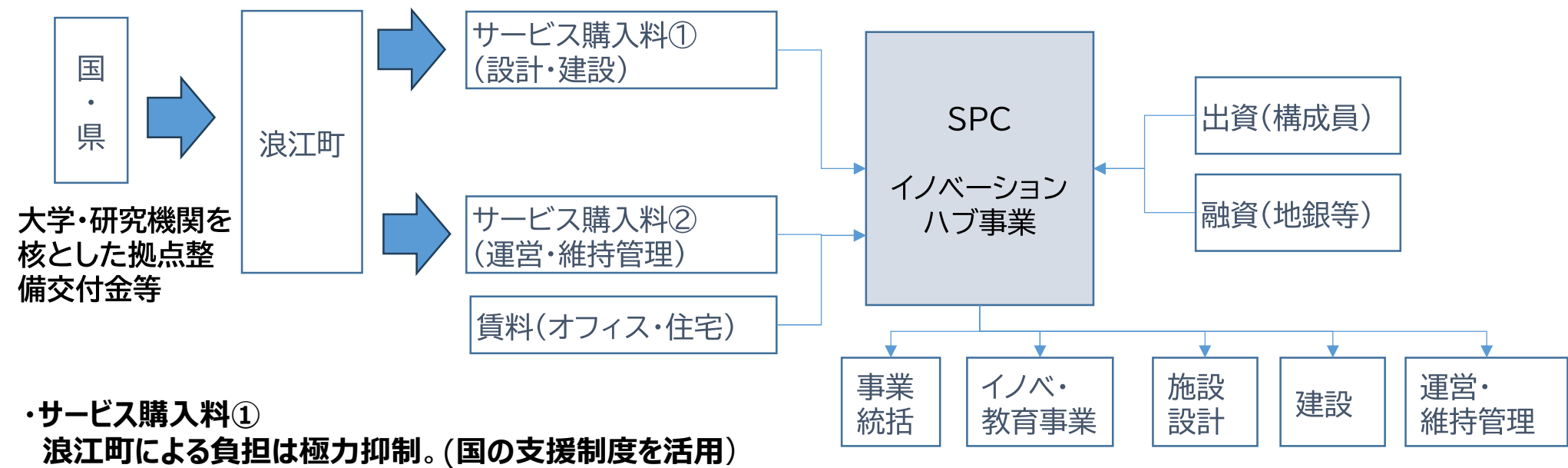
一部、宿泊機能
(インターンシップ、長期休暇カリキュラム、合宿)



事業主体・組織構成

イノベーション・ハブ事業は、「スクール」「オープンイノベーション」「レジデンス」機能を有する施設の**設計・建設・運営を一体的に行うPPP(官民連携)事業**を想定している。
施設整備については交付金等の国の支援制度の活用を想定している。

イノベーション・ハブ事業(PFI事業＝サービス購入型＋独立採算型)



- ・サービス購入料①
浪江町による負担は極力抑制。(国の支援制度を活用)
- ・サービス購入料②
初動期のリスク負担及び経営の安定性を確保するため
運営のベースロードを確保(施設運営の指定管理受託など)

イノベ・教育事業主体の発掘が今後の課題

まちづくりへの協力、浪江町駅周辺整備事業との相乗効果

まちづくりへの協力

- ・本提案をもとに、関心のあるプレイヤーや既存のステークホルダーと連携・相談し、事業の可能性を検討したい

検討ステップ ①多くの賛同者が得られる事業の構想を策定
②事業推進パートナー(候補)の模索、パートナーとの調整による事業化検討

- ・提案内容は、関係者の意向を踏まえて、実現可能なものに順応させていく

浪江町駅周辺整備事業との相乗効果

- ・イノベーション創出、地域交流機能を面的に展開する一拠点として期待できる
- ・駅周辺事業の運営方針に従い、類似機能については、役割分担を整理し、連携を行う